

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ところざわまつり開催事業	所管	市民経済部 商工労政課
			TEL 2998-9155

事業の目的 (何の為に 行うか)	ところざわまつりは所沢の歴史と文化を後世に伝えていくとともに、人と人のつながりを大切にするコミュニティの推進や、商店街の活性化を始め、多くの市民が参加することにより、多大な経済効果を上げることを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	335,000	人

活動の内容 (何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年5月に、所沢商工会議所が事務局となって「ところざわまつり実行委員会」を組織し、山車運営委員会、イベント運営委員会、バザール運営委員会、環境運営委員会でそれぞれ事業内容を決定している。 ・ところざわまつりは、毎年10月上旬、市内中央地区を会場とし、町内会の山車の曳き回しを中心に、お神輿、太鼓、パレード、民踊流し、よさこい踊り、ジャズロックコンサート、フリーマーケット、バザールコーナーなど各種団体や商店街などが多彩な催しを実施している。 ・事業予算は所沢市と所沢商工会議所の分担金で賅われており、事務局を所沢商工会議所に置くものである。 							
	活動実績	項目名	人出	33.5 ----- 単位 万人	項目名	パレード参加団体	14 ----- 単位 団体	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,000	4,000	13,864	40.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	経済効果	来場者数 * 2,000円	800000 ----- 単位 千円	700000 ----- 単位 千円	87.5 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了			
予算	現状どおり 増額 減額 終了					

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	031100	TEL	2998-9155
事業コード	とろざわまつり開催事業	市民経済部	商工労政課			
031106		グループ	商工振興担当			
開始年度	昭和 63 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	とろざわまつり実行委員会設置要綱						
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第5章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	2節 商業	中柱	1 魅力ある商業の振興	小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 20 位		・実施計画における位置づけ…H19 ○ H20 ○					
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
	コード		コード					
事業開始の背景	とろざわまつりの起源は、明治の頃、中央地区の町内会が中心となって開催していたまつりで、昭和60年から所沢商工会議所と所沢市が実行委員会を組織して運営することになった。さらに昭和63年から商工振興を目的に実行委員会に市が補助金を出して「商工祭ととろざわまつり」となり地元商店街が全面的に参加、平成12年から「とろざわまつり」となり市民の誰もが参加できる所沢を代表するまつりとして現在に至るものである。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的)	とろざわまつりは所沢の歴史と文化を後世に伝えていくとともに、人とのつながりを大切にするコミュニティの推進や、商店街の活性化を始め、多くの市民が参加することにより、多大な経済効果を上げることを目的とする。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方	来場者			
	市民	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人
				平成 19 年度	339,058	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 18 年度	335,000	人
	・毎年5月に、所沢商工会議所が事務局となり「とろざわまつり実行委員会」を組織し、山車運営委員会、イベント運営委員会、バザール運営委員会、環境運営委員会それぞれ事業内容を決定している。 ・とろざわまつりは、毎年10月上旬、市内中央地区を会場とし、町内会の山車の曳き回しを中心に、お神輿、太鼓、パレード、民謡流し、よさこい踊り、ジャズロックコンサート、フリーマーケット、バザールコーナーなど各種団体や商店街などが多彩な催しを実施している。 ・事業予算は所沢市と所沢商工会議所の分担金で賄われており、事務局を所沢商工会議所に置くものである。			平成 19 年度	335,000	人

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額
	平成19年度中に改善した点	・サンバパレードを日中に行うこととした。 ・元町北地区の工事開始により、イベントが行えなくなったことに伴う調整を行い、まつりの賑わいを保つよう努めた。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		3,500	4,000	4,000	
	決 算 (見込み含む)		3,500	4,000		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.78 人	7,176	1.05 人	9,864
	公債費					
	事業費合計		10,676	13,864		
	財源内訳	一般財源		10,676	4,000	4,000
		国・県支出金			361	
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		31.6	40.9			
利用数一単位あたり(単位:円)		31.9	41.4			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	人出	主催者発表	万人	33.5	33.5	
		パレード参加団体	団体数	団体	11	14	
	成果分析	経済効果	来場者数 * 2,000円	千円	目標値 800,000	800,000	
			%	実績 700,000	700,000	実績値の拡大を図る1	実績値の縮小を図る2
				達成率 87.5	87.5		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		見直しの必要性	
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	晴天に恵まれ、大勢の来場者を迎えることができた。今後は、まつりの賑わいをその日だけのものに終わらせず、商業の活性化につなげていくことが課題である。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	パレードへの参加団体及び参加者数の拡大を目指す。	パレード参加団体を昨年以上の数に増やす	とろざわまつり開催日	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 終了
評価理由	とろざわまつりは、商店街の活性化や本市の歴史・文化の継承を目指すイベントであり、商店街をはじめ多くの団体や市民の協力得て実施している。秋に行う大きなイベントの一つとして市民に定着し、多くの来場者を迎えており、引き続き商工会議所と緊密に連携して事業を行うものである。予算措置については、事業実態に合わせて、平成19年度に増額したものであり、平成21年度も現状どおりとする。			
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	商工労政課長 尾村俊和	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
								<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1252
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
施策の方向	5地域の歴史・文化・自然とふれあう機会の充実			